

<はじめに>

アニ×パラを効果的に学習に位置付けると…

- 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシーとしてパラスポーツ教育を進める際、児童・生徒の興味・関心を高めるための導入に有効です。
- アニ×パラ HP のスペシャル動画を合わせて視聴することで、自分たちが体験した場合にどのような難しさがあるのか知ることができ、選手がどのような困難を克服しているかを知る助けとなります。

<学習の展開例>

1	2 (本時)	3～
障害者疑似体験	アニ×パラ視聴	調べ学習/発表
<ul style="list-style-type: none"> アイマスク体験等、次時に視聴するアニ×パラの競技に関連する障害者疑似体験を行い、障害への理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> パラスポーツに興味をもつ。 障害者体験を振り返り、パラスポーツへの感想をもつ。 パラスポーツのルールの概要や、障害があっても楽しむことができるための工夫を知る。 アニ×パラサイト等を訪問し、自分の調べたいパラスポーツを決める。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分で選んだパラスポーツについて、歴史、ルール、障害があっても楽しむことができるための工夫、日本代表チームの選手や活躍等について調べ、発表する。 自分が調べたパラスポーツに関連する障害について、生活上の困難や工夫について調べ、発表する。 など

■ 本時の流れ

	学習活動 ▶ 予想される児童・生徒の反応	□ 指導上の留意点
導入	<p>障害者疑似体験に関するパラスポーツについて興味・関心を持ち、体験を振り返り感想をもつ。</p> <p>▶ 体験したとき大変だったけど、選手はどうして簡単そうにプレーしているのだろう。</p>	<p>■ アニ×パラワークシート 03 〈パラスポーツ体験なし〉を使用する。</p> <p>□ よりパラスポーツへの興味・関心が高められるよう、障害者疑似体験のときに感じた困難を想起させる。</p>
展開	<p>アニ×パラのHPを知り、自分が興味をもったアニメやスペシャル動画を視聴する。</p> <p>▶ 体験した障害についても、複数の競技や障害の程度によるクラスがあるんだな。</p>	<p>□ アニ×パラ HP の LINEUP (ラインナップ) を全体で確認し、その中から選ぶことができるようにする。</p> <p>□ 個々に視聴する際は、イヤホンを用意するか、音量に配慮するよう伝える。</p>
まとめ	<p>自分が調べる競技を1つ決め、発表までの見通しをもって調べ学習の計画を立てる。</p> <p>▶ 実際に障害のある方から話を聞いて、まとめよう。</p>	<p>□ なかなか決められない児童・生徒がいる場合には、日本パラリンピック委員会のHP等でパラリンピックの競技を確認する。</p>